

六呂師高原活性化 提案内容について

前田建設工業(株)(グループ 構成員:株)ヴィレッジインク)の提案を採択
(六呂師高原活性化構想(令和4年3月)に合致)

提案内容

コンセプト

六呂師高原の自然を活用した環境負荷の少ない
滞在型アウトドアアクティビティの展開

- ・大規模開発を行うのではなく、豊かな自然環境や既往の施設を活用した、環境に対して低負荷な整備を実施
- ・六呂師高原を旅の目的とする多様なコンテンツを企画し、既往のアウトドアファンやファミリー層、高級グランピング志向観光客などの利用を促進する

開発の進め方

段階的に開発を実施。まず第1期開発エリア(ミルク工房西側)に着手し、その後の開発は社会情勢や入込客数等を勘案し検討していく「**スモールスタート案**」を提案(全体の開発案は別紙のとおり)

【開発スキーム】

民設民営
(民間事業者が施設整備・所有・運営(国庫補助金等を最大限活用し、施設整備を実施))

【開発エリア】

ミルク工房エリア(第1期開発)、円山公園エリア、スキーパーク跡地エリア ほか

事業実施体制

前田建設工業・ヴィレッジインク社が主導し、地元事業者や団体、関係者等が互いの利点を持ち寄りながら、六呂師高原活性化の継続と安定を図る

前田建設(東京)／グループ 株式会社(静岡)

- ・六呂師高原全体の企画/コーディネート
- ・基幹事業となるキャンプ場の整備/運営
- ・音楽フェスなどイベントの開催 等

福井県

- ・民間事業者が行う施設整備(第1期)への支援
- ・イベント開催事業者への支援
- ・恐竜博物館からの誘客支援 等

大野市

- ・うらら館、基幹インフラの整備/更新
- ・地元団体や農家/酪農家等とのつなぎ
- ・星空関連商品の開発支援 等

地元経済界(観光ビューロー/地元関係団体等)

- ・星空イベントなどの開催
- ・アクティビティ体験(ツルクラミング等)の運営
- ・六呂師高原のPR/情報発信 等

第1期開発エリア イメージ

開発費：約4億円(国費2億円、県費2億円)※大野市はうらら館改修で約2億円負担
内 容：オートキャンプ約30区画、フリーサイト約20区画、サニタリー棟、管理棟、サウナ棟



■ 第1期エリア開発までのスケジュール

(※日程は状況により変動あり)

～ 令和6年 冬頃 開発計画(案) 作成

→ 令和6年2月議会

令和6年 春頃

開発計画決定、開発推進事業者と協定締結

今後の開発・運営(施設整備、運営、ソフト事業展開等)を進めることを目的とした協定締結

- ・開発計画(案)を説明
- ・開発計画(案)に基づき、必要な予算を計上

協定に基づき、第1期エリアから開発
(令和7年度中に供用開始)

→ 進捗状況に応じて、
状況説明、予算計上

奥越高原牧場

イベント広場エリア



【音楽フェス】

【星空ハンモック】



スキークラウド跡地エリア



【幌馬車による移動グランピング】



キャンプサイト/サウナエリア



バレルサウナ

テントサウナ

奥越高原青少年自然の家

自然保護センター

ミルク工房奥越前

P

トロン温浴施設うらら館

サンスポーツランド

星空風呂



円山エリア



：第1期開発



：その他開発